

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

わくわくする桃太郎のまち岡山創生プロジェクト

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

岡山市

### 3 地域再生計画の区域

岡山市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は2020年現在72万人であり、2050年には64万人（国立社会保障・人口問題研究所推計）になると予測される。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は2020年の93千人から2050年には69千人となる一方、高齢者人口（65歳以上）は2020年の189千人から2050年には223千人と増加の一途をたどり、少子高齢化がさらに進むと想定される。また、生産年齢人口（15～64歳）も2020年の443千人から2050年には351千人となる見込みである。

自然動態をみると出生数は2015年の6,540人から2024年には4,620人となっている。一方、死亡数は2015年の6,591人から2024年には8,184人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然減は▲3,564人となっている。

社会動態をみると2015年は転入者（23,358人）が転出者（22,003人）を上回る転入超過（1,355人）であったが、2024年には転出超過（▲645人）となっている。背景には、東京圏や大阪圏への転出超過となっていることに加え、近年20歳代の社会流出の傾向の強まりがあり、若年層の定着に向けた取組みが重要となっている。

人口減少社会においては、労働力の減少や消費需要の減少による地域経済の縮小、過疎化の進行、地域コミュニティの機能低下、都市インフラの管理費用の増

大等への対策も必要である。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現、移住促進や関係人口の創出・拡大を図るとともに、安定した雇用の創出やDXの推進による地域活性化等、地方創生の実現を図る。

#### 【基本目標】

- ア 愛着と誇りをもち、安心して働き暮らせるまちをつくる
- イ まちの「稼ぐ力」を高め、魅力と活力あふれるまちをつくる
- ウ 岡山市への新たな人の流れをつくる
- エ デジタルなどの新技術の活用や広域連携を推進する

#### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与 する地方版 総合戦略の 基本目標
ア	子育てしやすいまちと思 う保護者の割合	57.2%	65%	基本目標 1
ア	居住地域への愛着度	77.5%	80%	基本目標 1
ア	固定的な性別役割分担意 識の解消度	72.8%	78%	基本目標 1
ア	健康寿命 上段：男性 下段：女性	72.30歳 74.31歳	73.7歳 75.7歳	基本目標 1
ア	自主防災組織率	95.5%	100%	基本目標 1
ア	居住誘導区域内人口密度	59.3人/ha	60人/ha	基本目標 1
イ	付加価値向上に向けた市 の支援を受けた事業者数	80者	470者（累計）	基本目標 2
イ	スタートアップ創出数	50社	110社	基本目標 2
イ	観光客数	6,207千人	8,755千人	基本目標 2

イ	新規就農者数	31人	150人（累計）	基本目標 2
ウ	企業立地・再投資件数	7件	65件（累計）	基本目標 3
ウ	地域活動への参加割合 上段：全世代 下段：若者（20歳代以下）	43.3% 23.3%	49.9% 29.3%	基本目標 3
ウ	移住相談件数	2,000件	10,000件（累計）	基本目標 3
エ	学校が学びやすく安全などに配慮した環境を整えていると感じる保護者の割合	89.5%	90%以上	基本目標 4
エ	岡山市に住み続けたいと考える市民の割合	77.1%	85%	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

わくわくする桃太郎のまち岡山創生プロジェクト

- ア 愛着と誇りをもち、安心して働き暮らせるまちをつくる事業
- イ まちの「稼ぐ力」を高め、魅力と活力あふれるまちをつくる事業
- ウ 岡山市への新たな人の流れをつくる事業
- エ デジタルなどの新技術の活用や広域連携を推進する事業

#### ② 事業の内容

- ア 愛着と誇りをもち、安心して働き暮らせるまちをつくる事業  
多様な主体と協働し、安心して暮らし続けられる活力ある地域づくり、子育てと仕事の両立がしやすく、誰もが個性と能力を發揮できる若者や女性に

選ばれるまちづくり、賑わい拠点のさらなる充実及び循環型社会の推進などを図る。

**【具体的な事業】**

- ・子育て支援の拠点づくり事業
- ・公共交通の維持・拡充事業
- ・市民協働推進事業
- ・女性が輝くまちづくり推進事業
- ・自主防災組織育成事業
- ・旧城下町エリアの賑わいづくりの推進事業
- ・環境づくり支援事業 等

イ まちの「稼ぐ力」を高め、魅力と活力あふれるまちをつくる事業

市内企業の労働生産性や付加価値の向上の促進、新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興や創業支援、歴史・文化資源等を活かした観光誘客の促進、多様な文化芸術の創造・発信やスポーツ振興等を通じた賑わいの創出、農業の生産基盤の強化及び地域の活力を担う人材の育成・確保などに取り組む。

**【具体的な事業】**

- ・設備投資支援事業
- ・創業支援事業
- ・事業承継支援事業
- ・観光資源の魅力アップ事業
- ・アリーナ整備事業
- ・農業経営力向上対策事業 等

ウ 岡山市への新たな人の流れをつくる事業

企業誘致や魅力ある雇用により地域経済の好循環の創出を図るとともに、移住定住や関係人口の創出・拡大を図る。

大学や経済界等と連携した地域の担い手づくりや地域とつながる仕組みづくりを通じた若者の定着及び若者が希望する働き方を実現できる環境整備を

推進する。

**【具体的な事業】**

- ・企業立地推進事業
- ・移住定住促進事業
- ・学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 等

エ デジタルなどの新技術の活用や広域連携を推進する事業

市内企業のデジタル化や設備投資支援、DXの推進を支える人材の確保・育成に努め、AIやデジタル等の新技術を活用し、広く市民生活を豊かにするDXを推進するとともに、連携中枢都市圏をはじめとした近隣自治体との更なる連携強化を図る。

**【具体的な事業】**

- ・教育DX推進事業
- ・ICT環境整備事業
- ・連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携取組の推進 等

※ なお、詳細は第3期岡山市地方創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月～8月頃に、外部有識者から意見を聴取して効果検証を行う。数値目標の達成状況については、検証後に本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

## 6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで